

ほけんだより 12月号

令和4年
大和保育所

今年も後1か月となりました。この時期は、何かとあわただしく生活リズムが崩れがちです。余裕を持って子どもに接するようにし、やけど・転落等うっかり事故の防止や感染症予防を心掛けましょう。

= 11月に発症した感染症 =

- ・ヘルパンギーナ・・・7名
- ・手足口病・・・1名
- ・クループ症候群・・・1名



※かぜと似ていますが、声帯が腫れ「ケーンケーン」と特徴のある咳がでます。

新型コロナウイルス感染症流行の心配は付きませんが、園では、左記の感染症が発症しています。新型コロナ対策をしっかりと持続することは、他の感染症の予防になるでしょう。

当園の感染症発症状況は、玄関白板に掲示お知らせしています。思い当たる症状のある時は、用心されて下さい。

—お願い—

かぜ症状を甘く見ないで！

この時期の風邪症状は、特に、いろんな感染症(新型コロナウイルス感染・インフルエンザ・RSウイルス感染症・感染性胃腸炎等)の初期の可能性があるので「風邪」だと油断しないで早目に体を休ませ、また、鼻水・咳等が長引く時は、免疫力が低下している可能性があるため、医師に診てもらうなど、**良からぬ病氣にならない様**注意する事が大切でしょう。

持参するお茶は、**温かいお茶**で多めにお願いします。

- ★水筒内や蓋には茶渋・カビが付きやすいのでこまめに洗って下さい。
- ★★お茶に含まれるカテキンの作用やお茶で口内を潤すことでウイルスの体への侵入を防げると言われています。

インフルエンザの予防接種を受けましょう

今期はインフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行に警戒が必要です。発病しても重症化が予防出来るとされています。

冬の食中毒に注意しましょう!!

食中毒は夏より、実は**冬に多発**しています。大人は無症状か軽くすむ場合も**乳幼児は抵抗力が弱く、重症化しやすいので、食中毒にならない様注意が必要です。**

食中毒を起こす主な細菌・ウイルス

(サルモネラ菌・黄色ブドウ球菌・腸炎ピブリオ・カンピロバクター・ノロウイルス・O157・O117など)

★当園で毎年感染報告があるのが、**カンピロバクター**によるものです。十分に加熱されていない肉(特に鶏肉)により食後2日～7日で下痢・発熱・嘔気・腹痛・筋肉痛をおこします。

★★**集団生活で最も注意したいのが、ノロウイルス**です。11月～2月に多く低温乾燥が大好きなウイルスです。感染力が強く発熱・嘔吐・下痢・腹痛などを起こし対症療法しかありません。生カキ等が感染源ですが、人から人への感染が9割をしめます。**いかに感染しないようにするかが大切です。**

ノロウイルスは熱に弱いので85℃以上で1分間以上加熱、食中毒にかかった人の便や吐いたもの(症状が治まっても2～3週間は体に残る)から感染するので、手洗いの徹底・マスク・次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

注意 アルコール消毒は、新型コロナウイルスなどには有効であるがノロウイルスには効果は期待できません。

冬の服装について

寒くなると、つい多めに着込みがちですが、子どもは体温が高く、汗もかきやすいので、大人より1枚少ない服装を心がけましょう

★下着を着けて体を冷やさないことが大切です。お腹や背中が出ないサイズに！

★厚手の服を1枚着るより、素材の異なる薄手の服を2枚重ねる方が、空気の層ができて温かくなり、室温に合わせて脱ぎ着がしやすくなります。

★屋外で着るジャンパーなどは、そで口や首元がピッタリと閉じている物を選びましょう。